

# 課題研究発表会

平成 24 年 1 月 25 日（水）に本校第一体育館で（13:00～15:30）課題研究発表会が行われました。課題研究は 3 年生が 1 年間かけて行った成果を発表するものです。本校では、3 学科、6 コースより 8 つのテーマが、それぞれの代表によって発表されました。



課題研究発表会には、振興局水産部、宮古市水産課から関係の皆様が来校して頂き、充実した発表の内容に驚かれています。また、市内中学校から 70 名以上の中学生を招待し、日頃の研究活動の成果を見てもらいました。



## 海洋技術科 海洋コース

### 【研究テーマ】

小型船舶実技教習再開に向けた、リアスハーバー沖の水深調査

### 【研究概要】

本校は小型船舶操縦士二級の教習所の指定を受けており、海洋技術科では3年次に教習を受講することができる。地域水産業を担う私たちに必須の資格である。東日本大震災により教習艇を失ったが、日本財団より新艇の寄付を受けた。実技教習再開に向け、神林・リアスハーバー沖合の海域にがれきなど船舶の航行に危険を及ぼすものがないか調査する必要がある。そこで、魚群探知機を使用し教習海域の水深を測定して等深線図を作成した。



## 海洋技術科 栽培コース

### 【研究テーマ】

今僕たちにできること！ 復興への船出

### 【研究概要】

昨年3月11日に起きた東日本大震災は、山田町にあった栽培漁業実習場や宮古地域の養殖施設も全壊し全てが停止してしまいました。そんな状況の中で「僕たちにできることはないか」という強い気持ちから、「ワカメやコンブの種苗生産」、そして現在進めている「マボヤの種苗生産」により、養殖漁業者を支援しようと取り組んできたことを発表します。



## 海洋技術科 工学コース

### 【研究テーマ】

機構学を利用して

### 【研究概要】

機械設計工作の授業で機構学に関連した内容を学んだことから、機構の原理をさらに理解するため4足独立歩行形のロボットの製作に取り組んだ。



## 食品家政科 食品管理系

### 【研究テーマ】

水産物の有効利用 番外編「宮古に元気を届け隊」活動の記録

～今、私たちにできること…～

### 【研究概要】

津波により、収穫間近のすじめは流失。水産加工会社に保管されていた原料すじめも流され、今年度予定していた新商品の開発もできなくなった。そこで、「私たちに今、何ができるのだろう」ということを真剣に考え、『宮古に元気を届け隊』を結成。果たして宮古に元気を届けられたかはわからないが、その活動と成果を発表する。



## 食品家政科 家政系

### 【研究テーマ】

現代に生きる服飾～機能性、装飾性で社会に影響を与えた軍服～

### 【研究概要】

私は、多くの漫画やアニメで軍服を目にしてから、軍服に興味を持ちはじめました。そこで、軍服について調べ、現在どのように暮らしの中にあるのかを知り、自分のイメージした軍服の完成を目指しました。



## 食物科

### 【報告テーマ】

食物調理技術検定1級への挑戦

### 【報告概要】

昨年12月26日に食物調理技術検定1級が行われました。今年度の主題は「65歳祖母の誕生祝い」で、指定調理は「かつらむきとかつらむきを使った料理」と「茶わん蒸し」でした。検定は主題に沿った5品を90分で作ります。食物科にとって集大成となる調理1級検定受験の報告をします。



## 食物科

### 【研究テーマ】

「食」で築こう人と人との心の絆

### 【研究概要】

震災の影響が残る中、私たち食物科はどのように一歩を踏み出すか考えました。まずは、できることから少しずつ、と、昨年度まで継続していた幼児クッキング教室や料理講習会を実施しました。また、料理コンクールにも多数参加し

ました。そのなかで、私たちは「食」は人と人との絆を築くものだと実感することができました。

「食」の活動をすることが私たちに与えられた使命だと感じ、研究を行いました。

